

奥物部ふるさと物産館で沖縄三線ライブ開催

7月19日に今年4月にリニューアルオープンした奥物部ふるさと物産館で、沖縄三線ミュージシャンの那音さんを招いてライブを行いました。

那音さんは京都府出身で、琉球音楽を学び、2021年には琉球民謡伝統協会の新人賞を受賞されています。現在はライブ演奏で全国をまわりながら、世界の飢餓に苦しむ人々の救済活動や、森林環境保全活動に取り組む「地球愛祭り実行委員」として、ライブ売上の一部を活動基金に寄付されるなど、音楽を通して癒しと喜びを広げる活動をされています。昨年は、物部町内や大川上美良布神社でライブを開催し、自然と歴史豊かな香美市をとても気に入っていただけだったので、今年は奥物部ふるさと物産館でのライブが実現しました。



当日は雄大な奥物部湖を背景に、「ていんさぐの花」、「島人の宝」など約1時間、三線を引きながら熱唱されました。また、飲食ブースを設けた会場には、町内外から約60名の方が来場し、夏のひとときを楽しみました。



市内の保育園、小中学校で「あんぱん給食」登場しました！！

7月11日（山田・香北）、15日（物部）に、香美市内の小中学校の給食で「あんぱん給食」が提供されました。これは、連続テレビ小説「あんぱん」をきっかけに、やなせたかし先生が長年、朝食で食べていた「特製野菜スープ」に着目した食育事業の一環として実施されたものです。

「あんぱん給食」は今年1月にも提供されましたが、児童生徒たちから「特製野菜スープにうどんを入れるとおもしろい」という意見があったため、今回うどんメニューにアレンジして提供した学校もありました。給食センターでは、今後も改良を重ねて定番メニューにしていきたいと考えています。

また7月25日には、市内の保育所でも「あんぱん給食」が実施されました。なかよし保育園では給食の前に、園児たちが市の栄養士から、やなせ先生と「特製野菜スープ」のお話を紹介してもらいました。給食では、野菜たっぷりの特製スープを、園児たちが「おいしい！」とおかわりする姿が見られ、おやつにあんぱん・牛乳と一緒に、みんなでおいしく食べました。



山田の給食メニュー
特製野菜スープうどん・スイートポテトサラダ・あんぱん・あんぱんが食べたくなる牛乳



香北の給食メニュー
特製野菜スープ・みそぶた丼・白瓜ときゅうりの和え物・あんぱん・あんぱんが食べたくなる牛乳



物部の給食メニュー
特製野菜スープうどん・はちきんコロケ・きゅうりの土佐漬・あんぱん・あんぱんが食べたくなる牛乳



▲ なかよし保育園での「あんぱん給食」の様子 ▲

あなたの命を守る「マイナ救急」が始まります。

10月1日より 実証事業開始



香美市内の実施救急隊数：2隊
(消防署1隊・香北分署1隊)

マイナ救急とは・・・

救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し、傷病者の医療情報等を閲覧する仕組みのことです。

★マイナンバーカードを見せると、次の情報が伝わります。



・傷病者の説明負担が軽減されます
・より適切な処置が受けられます

マイナ救急の流れ



【問い合わせ先】
香美市消防本部消防課 ☎53-4179

よくある質問などは香美市ホームページをご覧ください。



事業に関する情報は消防庁の特設サイトをご覧ください。



万博「にっぽんの宝物レジェンドグランプリ」に(株)スイーツが出場

6月23日に大阪・関西万博で、地域の逸品を世界に発信する「にっぽんの宝物レジェンドグランプリ2025」が開催され、香美市の株式会社スイーツが「ザ・カカオロール」で2位に輝きました。これは、2016年から行われたJAPAN大会総合1位か、世界大会グランプリの歴代優勝業者のみが集結した、10年間の集大成の大会です。

「ザ・カカオロール」は通常、チョコレートに含まれる香料や乳化剤、小麦粉までももまったく使わない世界初の技術で仕上げた、驚くほどカカオの香りが豊かな商品です。この商品は、高知龍馬空港の土産物売り場「ビッグサン」や、とさのさとアグリコレットで販売されています。



「トン・トン・トン」叩き染め

8月5日に大柁保育園の親子行事で、「藍のたたき染め」が行われました。

藍染に使われる蓼藍は、古来から香美市で盛んに栽培され、藍染が産業になっていたこともあるとか・・・。その蓼藍を使って、子どもたちが自由にデザインし、親子の共同作業で葉っぱの上からトントントン！葉っぱの模様がどんどんできて、素敵なバッグができました。

子どもはもちろん、大人も楽しむことができました♪

